

令和6年度の教育活動等に対する学校関係者評価

令和 7年 3月 1日

学校法人象山学園象山幼稚園長 秋山 斌

学校法人象山学園象山幼稚園学校関係者評価委員会

1. 本園の教育目標

- ・元気で明るく丈夫な子
- ・素直に挨拶ができ友達と楽しく遊べる子
- ・よく考えて伸び伸びと自分を表現できる子

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

職員間の連携を図り、教育の質を高める。

地震等災害時の安全管理の強化を図る。

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
保育者としての能力向上	A	子どもの姿について話し合う機会として職員会議を実施している。職員全員で援助や指導方法の見直しをし、各園児への指導方法に一貫性を持たせている。その他、各種研修会への参加・他園の参観を行い教育の質の向上を計っている。	A	園内の研修は大事だが、他園の教諭と研修会で関わることも刺激となり、自園の内容見直しにも効果的であるので、積極雄的に課題をもって取り組んでほしい。

<p>保育・教育の計画性 保育・教育の在り方 子どもへの対応</p>	<p>A</p>	<p>職員会議で、多くの職員が発言できるように形式を変更した。これにより、いつも同じ人ばかりでなく、全員が責任をもって意見を言う場を意図的に持つことができた。問題のある子どもへの対応をすぐに共有することができるようになった。</p>	<p>A</p>	<p>食育に力を入れ、幼稚園の畑で野菜を育てたり、収穫したものを食べるなどの様々な取り組みを継続的に行っていることは大変評価できる。卒園児の様子を見ても普段の生活の中であいさつのできる元気でしっかりした子が多い印象がある。今後も継続的に教職員間での理解を深め、保育を進めていってほしい。</p>
<p>地震防災対策</p>	<p>A</p>	<p>前年度に静岡消防署の署員に意見を頂いた避難方法やマニュアルを基にし、職員会議で地震や火災が発生した際の対応を見直している。緊急地震速報受信機を利用した避難訓練を毎月おこなっている積み重ねで、園児もあわてることなく落ち着いて避難を行うことができるようになってきている。</p>	<p>A</p>	<p>子どもたちの命にかかわる問題なので、保護者も幼稚園の防災に対する取り組みには関心を持っている。今後も続けていきたい。</p>
<p>地域の自然や社会との関わり</p>	<p>B</p>	<p>子育て支援として、地域の未就園児に毎日園庭を開放して遊具や三輪車等で自由に遊べるようにしている。また、イベント日には催し物をし、たくさんの方に喜んでいただいている。前年度までコロナの影響があり、親子の足が遠のいていたが、だいぶ参加者も増えてきた。</p>	<p>A</p>	<p>核家族が多いので身近に祖父母がいなく、家族以外の大人と接する機会が少ない子どもも多い。子ども達にとっては良い機会になるので、今後も遊ぶ場を提供していってほしい。</p>
<p>保護者への対応 園に対する保護者の満足度の把握</p>	<p>A</p>	<p>保護者にアンケートを実施し、保護者の求める幼稚園の姿・要望を聞いている。今年度もできる範囲で要望を取り入れ、保育内に取り入れてきた。保護者の園全体に対しての評価は概ね良いが、少数意見も取り入れて今後に反映させていきたい。</p>	<p>A</p>	<p>全ての保護者への紙面のアンケートは各自の意見が聞けるので、とてもよい。毎年のアンケートを比べると、保護者の求めるものの傾向がわかり面白いのではないか。</p>

施設・設備・遊具の点検や整備	A	今年度は旧園舎の屋根や壁の塗り替えをした。毎月チェックシートをもとに複数の職員で施設や遊具の点検を行っている。危険な個所は直したり、業者をお願いするなどの方法で対処している。	A	子どもの安全を守るためには、日ごろからの意識が重要であると思われるので、次年度以降も点検をお願いしたい。
----------------	---	---	---	--

4. 今後取り組むべき課題

園内での職員研修をさらに充実させる
 子どもの自主性・感性をはぐくむための環境づくりを継続する。
 地域との関わりを深める機会について検討し実施を目指す。